

平成30年度「小・中学校ジョイントスクール推進事業」是川中学校区実践計画書

事務局 八戸市立是川中学校（担当：教頭 志塚 聡）

1 主題（3年計画の2年次）

『確かな学力と望ましい生活習慣を育成する小中連携のあり方』
～ 基礎・基本の定着を図る小中継続した指導の工夫 ～

2 主題設定の理由

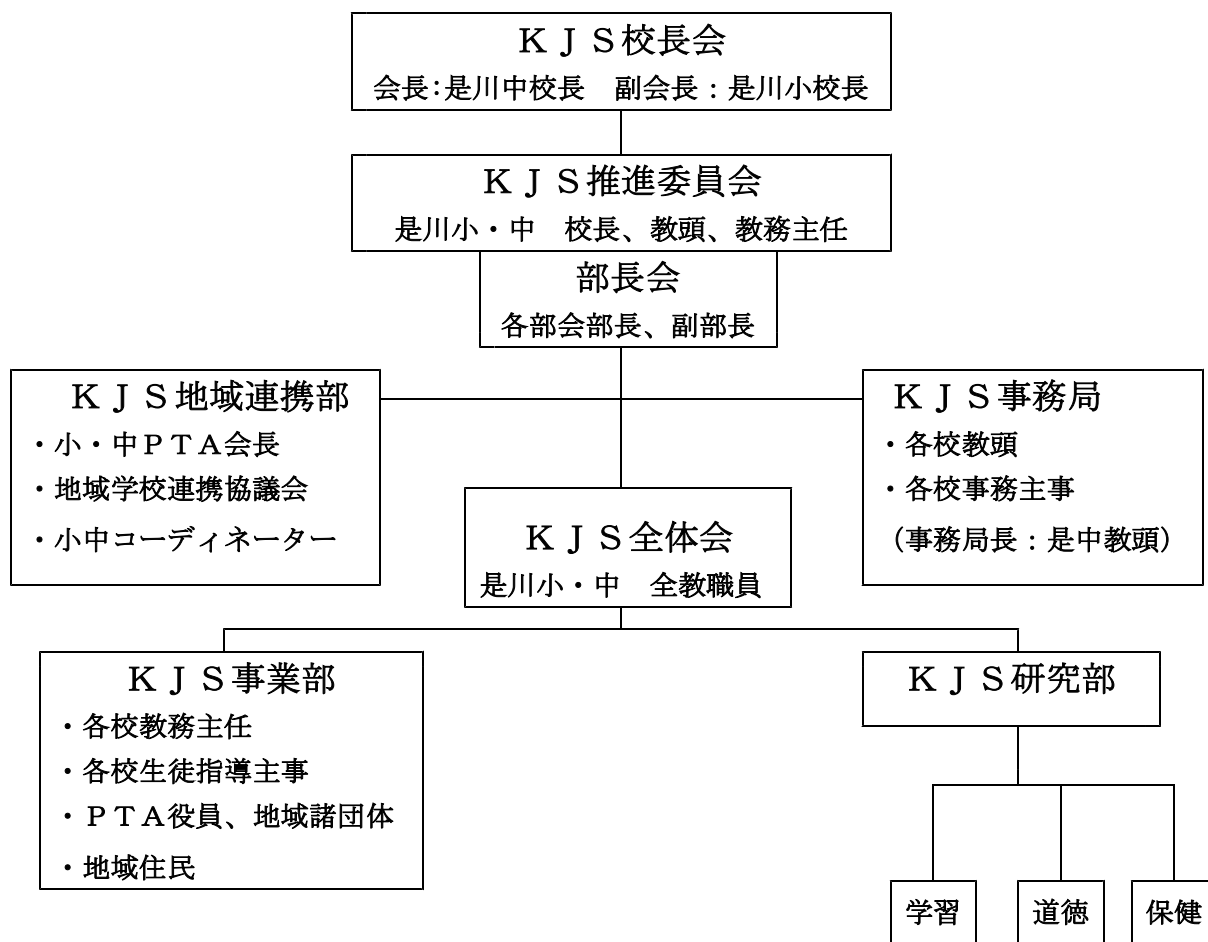
本中学校区においては、縄文野焼きや小6参観日を通じた交流機会の拡充など小中協同実践の充実に努め、よりよい人間関係づくりをめざして、道徳教育を基盤としながら、協調性を育み互いを認め合う環境づくりに取り組んできた。その結果、「教職員の相互協力関係の構築」や「小学生の中学生への憧れや期待・中学生の小学生への思いやりや誇りの涵養」が図られ、児童生徒・教職員共に、「心のふるさと 是川」に対する愛着を深めることができた。そして、このように涵養された良好な人間関係づくりを土台とし、その上に「生きる力」の柱である「確かな学力」の育成に向けた取り組みを図ることが課題となった。

この実現のためにも「学習部会」「道徳部会」「健康・保健部会」の3部会で研究実践を進めるとともに、基本的な生活習慣や家庭学習習慣の確立を図るため、今まで以上に小中が連携して確かな学力を育成するとともに、家庭や地域との連携を深めながら、義務教育9年間を見通した継続的な学習指導や道徳教育、保健教育を推進し「学校づくりの共有」を目指していくこととした。

保護者や地域の思いや願いを受け止めながら、是川中学校区の「子育ての共有」を図り「共に育て・共に育つ精神」に立った連携を充実させていきたい。

3 小・中学校ジョイントスクール推進事業を推進するための組織

【是川中学校区小・中学校ジョイントスクール推進協議会】



■活動内容

(1)八戸市小・中 J S 推進協議会委員

- ①市小・中学校 J S 推進協議会への参加 ②調査報告書の作成

(2)事務局

- ①全体研修会の実施 ②実践計画書・報告書の作成

(3)事業部

- ①縄文野焼き、小6 参観日等の実施

(4)研究部

・学習部会

- ①家庭学習の取りませ方（手引きの活用、力になる家庭学習のさせ方）の研究
 - ・縄文ウィーク、縄文コンテスト、縄文ノートの有効活用
- ②N R T 結果の分析
- ③共同研究、共同授業による研究授業の実施
- ④特別な教育的ニーズのある児童生徒への教育相談の実施と事例研究
- ⑤ J S 交流学习会の計画と実施
 - ・ふれあい作品展
 - ・クッキング交流会
 - ・ふれあい遠足

・道徳部会

- ①道徳の教科化についての情報交換
- ②生徒の道徳性を高めるための情報交換
- ③連携したキャリア教育の推進
 - ・小4～中3までの連続したキャリアパスポート（自分を知るための6年間）の活用
 - ・キャリア教育に関するアンケートの実施

・保健・健康部会

- ①生活習慣リズムの調査、確認
- ②児童生徒に関する情報交換

4 中学校区の重点指導項目

- 気持ちのよい返事や挨拶ができる
- 正しい言葉遣いで、はっきり話すことができる
- 進んで読書ができる
- 自他の生命を大切にできる
- 話をしっかり聞きとることができる
- 身の周りの整頓や清掃ができる
- 家庭学習ができる
- 目標をもち、粘り強く努力することができる

5 9年間を見通した小中連携推進の視点

- 学習指導の充実 道徳教育の充実 特別活動の充実
- 「総合的な学習の時間」の充実 特別支援教育の充実 生徒指導の充実
- 幼稚園・保育園との連携 高等学校との連携 その他

6 今年度の小中連携の具体的な計画

月	日	内 容	備 考
5	2	中学校の授業公開 第1回全体研修会（組織会）・推進委員会 ・今年度の実践計画 ・児童・生徒理解 ・特別支援教育の現状・部会の活動内容	是川中
7	上中旬	小中合同学区クリーン作戦（是川小）	是川小
8	7（午後）	第2回 J S 研修会・推進委員会・N R T 分析	是川中
8	末	中学校選抜陸上部が児童に伴走	是川小
10	1 3	中学生が小学校の学習発表会に参加	是川小
10	2 6	是川中縄文野焼きに小学生が参加	是川中
11	2 6	第3回 J S 研修会（是川小全学級公開授業参観） ・今年度の実践のまとめ	是川小
1	1 1	J S 推進委員会・部長会合同会議（来年度の計画）	是川中
1	2 4	是川中「小6 参観日」	是川中
2	23・24	是川中木彫・テラコッタ展に小学生の作品展示	はっち